

第3回 倉吉市地域産業振興戦略会議 議事録

【開催日時】平成22年5月12日（水）10時から12時まで

【開催場所】倉吉市役所本庁舎3階 大会議室

【出席者】石田市長、小椋委員、奥村委員、岩本委員、森敏昭委員、竹歳委員、能登委員、坂根委員（代理出席）、小野委員、藤本委員、今井委員、山下委員、安藤委員、森和美委員、黒川委員

【オブザーバー】倉吉ふるさとプロデューサー 福井氏

【事務局】山根産業部長

<商工観光課> 森石課長、美船課長補佐、宮脇係長、山本主幹、竹田主任、戸田主任

<農 林 課> 宮本課長補佐

【議事の内容】

1. 開会

倉吉市産業部長 山根誠が開会挨拶。

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

[森石課長]

委員交代による新委員、森敏昭氏を紹介。

4. 議事進行

[森石課長]

本日は、事務局が委員の皆様のご意見を踏まえた、倉吉市地域産業振興ビジョンの素案をとりまとめており、今回の会議で、ご意見がまとまれば、会議としてのビジョン案として、パブリックコメントを行なうよう考えている。パブリックコメントは1ヶ月程度を予定している。

その後、7月に第4回戦略会議を開催し、この会議では、パブリックコメントを含めたビジョンの最終決定、ビジョンの具体的な取り組みの内容、ビジョンの推進体制について協議をさせていただきたい。

●小野委員が座長となり、会議を進行。

(1) 会議の傍聴者の取り扱い

[座 長]

第1回戦略会議で委員より、マスコミ等の傍聴者があると本音の議論が出来ないという意見があり、事務局としては第2回、第3回の会議はプレスリリースしなかった。今後、

会議の傍聴希望があった場合の取り扱いを委員にはかる。

[山根部長]

今回の会議からはビジョン（案）の決定、ビジョンの推進体制等に向けた協議であり、産業振興に係る重要な内容であるため、原則公開のうえ会議を行いたい。

[委員]

－ 異議なし －

[座長]

今回の会議から公開し、傍聴者を認める。

(2) ビジョン案について

[座長]

事務局より、ビジョン案の構成及び地域産業の振興に関する数値目標まで、一括して説明をお願いしたい。

[宮脇係長]

・ビジョン（案）の構成、地域産業振興の課題、地域産業の基本目標と目指すべき姿、地域産業の振興に関する数値目標について説明する。

[座長]

・地域産業振興に関する数値目標について補足説明を行う。

雇用自立度の維持、市民所得指数の前年アップ

[オブザーバー]

雇用自立度について市民意識調査結果から算出する際、倉吉市民である就業者数の内、正規職員・非正規職員の割合を出すことはできないか。

[宮脇係長]

市民意識調査では、職業の設問で「パート・アルバイト」を選択する項目があるため、正規職員・非正規職員の割合を出すことは可能である。

[座長]

国勢調査においても、オーダーメイド式で依頼すれば可能だと思う。

[座長]

事務局より、地域産業振興の方向性と戦略について、説明をお願いしたい。

[宮脇係長]

地域産業振興の方向性と戦略について、体系図により説明を行う。

[委 員]

方向性3の施策「地域観光魅力の創出」で「インバウンド観光」「広域観光の推進」とあるが、記述が抽象的であり、具体的に落とし込めないか。

[森石課長]

ビジョン決定後、戦略会議で具体的な取り組み内容（アクションプラン）を決定する。

[委 員]

アクションプランは、どのようなメンバーで作るのか。

[森石課長]

これまでの委員のご意見・ご提案を踏まえ、関係者等と協議して事務局で作成する。

[委 員]

この戦略会議は、倉吉らしさを創出するための会議だと思っている。このビジョンの中で足りないものがあれば追加し、必要のないものは削除して、数値目標を実現していく必要がある。

[オブザーバー]

農商工連携は商品開発だけではなく、新しいサービスを生み出すことや観光との連携も必要である。

[森石課長]

魅力ある農産物を活用したツアーの利用促進と農業と関連する体験ツアーがある。

[委 員]

数値目標の雇用自立度は維持ではなく、アップとした方が良いのではないか。

[委 員]

伝統産業を観光と結びつけ、倉吉らしさを創出する必要がある。

[森石課長]

倉吉緋、はこた人形、陶芸など、本市の伝統産業は地域に根付いている。これらの伝統産業の活用をビジョンに盛り込みたい。

[委 員]

西倉吉工業団地の分譲可能地 2.4ha は、企業誘致を推進していく上で、面積が少ない。他の場所を含めて企業誘致をしていく考えはないか。

[森石課長]

西倉吉工業団地再整備事業により、団地内道路の2車線化などで利便性を図り、まずは残り 2.4ha の分譲可能地を完売したい。関金町金谷工業団地においても、「本内家具」「関金メイワ」といった空き工場があり、企業誘致を進めたい。工業団地以外の工業系用途区

域についても、進出企業からの希望があれば、オーターメード方式により、企業の意向に沿って造成分譲を行いたい。

[委員]

企業誘致では、どのような営業活動がされているのか。近年は、大企業の海外進出が当たり前になり、倉吉市の大手企業についても海外に工場を持っている。地域の中小企業は大手企業にお世話になっており、市内の大手企業本体が海外進出してしまうと地域経済に大きな影響を与える。行政は市内の大手企業の状況を普段から把握しておく必要がある。

[森石課長]

企業誘致については、大阪市北区梅田の鳥取県関西本部内に倉吉市関西事務所を設置し、企業誘致担当の職員1名を配置しており、関西圏の企業を対象に活動を推進している。関西事務所開設後、企業誘致の成果は上がっているが、近年では経済情勢の影響もあり、難しい面もあるのが現状。また、市内企業については、企業の事業活動に係るニーズ把握のため、企業訪問は定期的に行っている。

[委員]

倉吉市の農業産出額は、本市の基幹産業と言える電子部品製造の製品出荷額より低いが、県内の他市と比べると高いものがある。

[委員]

食品加工業を育成するためには、持続的な農業の振興と安定的な農産物の供給を図る必要がある。

[森石課長]

農業の振興については、倉吉市農林業振興・食に関する条例に基づき策定された、農業基本計画により推進していく。

[委員]

地域産業振興の方向性としての議論として、どこに倉吉らしさを入れるのが大事。新産業を創出して雇用を生み出すのか。伝統産業など倉吉にあるものを活かして、産業を活性化させるのか。

[森石課長]

このビジョンは地域産業の振興に向け、施策段階で選択と集中により取り組みを行っていくものである。「農」を活かした新たな産業・雇用の創出を図ることが重要であり、そのためには、農産物の安定的な供給が図られることが必要となる。

[座長]

この産業振興ビジョンでは、農業の位置づけが明確になっていない。第1回戦略会議に

において委員から意見があったと思うが、倉吉市農林業振興・食に関する条例による「農業基本計画」との関連性について、記述しておく必要があるのでは。

[委員]

このビジョンには、物流に対する支援策が入っていない。全体として物流コストが必要になるため、その部分に関する支援はできないか。

[森石課長]

戦略の中の販路開拓に入れたい。

[委員]

将来的に人口減が進む中で、産業振興の取り組みとして、少子化対策を盛り込むことはできないか。

[山根部長]

倉吉市総合計画の重点課題として「若者の定住化促進」を重点施策として位置付け、取り組んでいる。

[委員]

鳥取県経済成長戦略との整合性はとれているのか。県と連携して産業振興の施策を取り組む必要がある。また、ビジョンの成果の評価も行う必要があり、「雇用自立度」「市民所得指数」のほかに補助的な数値目標を入れてはどうか。

[山根部長]

鳥取県経済成長戦略は大変細かいところまで盛り込まれている。産業振興の取り組みは当然に鳥取県との連携も必要であり、本市のビジョン案は鳥取県経済成長戦略と整合性をとっている。

[座長]

ビジョンの進捗状況や成果の評価を行うための指標を出した方が良い。

[山根部長]

ビジョンの具体的な成果指標については、現在、検討中。

[委員]

まちづくりにアート・文化系のことを入れてはどうか。関金温泉街では廃業している旅館が多く、関金温泉でも最も湯量が多いと思われる「温清楼」の源泉の活用した取り組みはできないか。また、玉川の美化だけでなく、観光重点地区の美化も図る必要がある。

[山根部長]

アート・文化系については、観光商品に入れていきたい。関金温泉については、廃業に

なっている旅館などを再利用し、地域資源である温泉の源泉の利活用を図りたい。

[座 長]

このビジョン案を事務局で修正し、パブリックコメントを行なうよう決定してよいか。
—異議なし—

[座 長]

本日の会議で出た委員の皆様のご意見をもとに、ビジョン案を事務局で修正し、パブリックコメントの手続きを行う。

[森石課長]

今後のスケジュールとして、パブリックコメントを1ヶ月程度実施し、その後、第4回目の会議を開催し、倉吉市地域産業振興ビジョンを正式決定する。

5. 閉会